

FM バックキャスト研修レポート

石巻赤十字病院

6期Dグループ



授業前の知識

メンバー3名のうち、1名は総合病院で勤務経験のある看護師で、医療における基本的な知識を踏まえている状況での研修であった。他2名は医療機関での勤務経験は無い状況であった。

授業の目的・到達目標

地域医療の現場を観察、医療従事者への質問を通して地域医療における問題点やニーズを探索し、これらに対する解決策を考案し、成果報告会で発表を行う。特に、多様なバックグラウンドを持つメンバーが、それぞれの得意分野からの視点で発表を行った。

授業内容

研修は5日に渡り、医療における活動の実際を見学した。

【1日目 石巻赤十字病院】

病院についての基本的な知識から、今後の超高齢化社会における医療の形について学んだ。地域病院によってまた、最も直面している課題が超高齢化社会であり、それによる人手不足の問題や、働き方の改革が迫っている。また、地域医療連携についての石巻における現状についてのお話を伺った。施設見学において、ドクターカー、ヘリポート、病院の免震構造を見学した。その際に、救急医療や災害医療についての備えと取り組みについて学んだ。

【2日目 石巻赤十字病院】

手術室にて大腸癌、胸部大動脈瘤の手術見学を行った。大腸癌手術では、手術支援ロボットであるダヴィンチを使用している場面を観察した。地域病院とはいえ手術室の設備がほぼ完璧だったが、将来に向けて改善する余地があるのではないかと疑問が出た。ただし、経済面で厳しい現状のことがあり、いかに有限の資金を配分するかが問題だと思った。皮膚・排泄ケア認定看護師から褥瘡ケアについての講義を受けた。また、午後には、1人のメンバーが脳神経内科で、2人のメンバーが栄養課で見学を行った。特に、栄養課での見学により、医師-患者間のコミュニケーションに工夫する必要があると感じた。

【3日目 石巻赤十字病院】

入退院支援室にて入院前の説明の見学と、病棟に入院する高齢患者の見学を行った。災害時の医療についてこれまでの石巻赤十字病院での活動を振り返りつつ学習した。また、原子力施設での事故を想定して建設された原子力棟の見学を行った。午後からは、メンバーの背景や興味関心に関連した分野の見学を行った。

(薬剤部・臨床心理課・褥瘡回診・糖尿病外来での見学を実施)

【4日目 南三陸病院】

午前は震災遺構である大川小学校と防災庁舎、また南三陸311メモリアルの見学を行った。午後は南三陸病院の施設と往診の見学を行った。

【5日目 石巻赤十字病院】

最終日には、これまでの研修の中で考えた地域医療の問題点やニーズを抽出し、これらに対する解決策を提示して発表を行った。

研究や仕事に活かせる点

経済出身のメンバーとして、地域エコシステムを研究しているため、今後、地域研究を行う際に、地域病院が一つのアクターとして捉えることが可能になった。また、企業や大学の従業員として、地域病院と連携することをやりたくなった。

研修を通して、改めて医療現場におけるタスクシフト・シェアや、業務効率化を推進することで医療従事者の業務負担を軽減することが重要であると感じた。また、医療機関だけでなく、患者が退院する先の自宅や施設においても同様のことが言える。今後の医療を少しでもより良いものとするための研究を行いたい。

この研修を通して、在宅医療の需要がこれからも高まっていく中で、医薬品をどう行き渡らせるかという課題に一番注目していた。それは単に医薬品を届ける方法だけではなく、医薬品の品質をどう保ちながら必要としている人へ届けるのかという問題も存在する。適切な温度管理下でないと、薬効は十分に発揮されない。自分の研究でも、遠く離れた研究室の方から薬剤を頂戴し使用することがあるため、そこにも通じるものがあるなど感じたと共に、研究用試薬などの品質管理にも更に気を配らなければならないなど感じた。

地域医療における課題

石巻赤十字病院は、一般的な地域病院より経済面での効率化が出来ている。また、高度急性期医療の提供や、災害機能面での優位性があると思われる。地域医療において、医療従事者の人員不足や高齢化の進行、過疎化の進行、病院の財政的な問題など様々な課題が存在する。また、営利組織と違うため、市場縮小の局面で、病院の統合、廃棄に伴う経営的問題が存在しており、統廃合の際の過去債務や職員の処遇を処理する仕組みの構築が必要である。

来年度以降の改善点・限界点

5日間の研修期間中4日を石巻赤十字病院にて行い、半日を南三陸病院にて行った。それぞれ機能が異なる病院では抱えている課題やニーズも大きく異なることが考えられるため、南三陸病院での研修割合を増やすことが望まれる。限界点として、研修期間が5日間と短期間である。そのため、課題やニーズを抽出するために必要な病棟・外来などの医療現場を繰り返し観察することが難しい点が挙げられる。

まとめ

本研修において、石巻赤十字病院および南三陸病院にて地域医療が抱えている問題点やニーズの探索を行い、解決策を考え提案した。最後に、実習を受け入れて頂いた石巻赤十字病院と南三陸病院の皆様、ファシリテーター教員の菖野佳浩先生、未来型医療創造卓越大学院の先生方、スタッフの皆様に厚く感謝申し上げます。